

有限会社ブリキンながい

永井 久椰さん

Nagai Hisaya

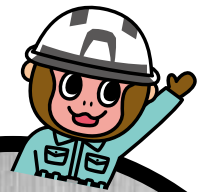
Profile

金沢市出身。日本航空高等学校石川卒業後、ブリキンながいに入社し、建築板金職人に。住宅の新築・リフォームを中心に担当。現場は県内が主だが、時に県外から依頼が来ることも。「大阪に出張し、1カ月住み込みで大型スーパーを施工したことがあります」と永井さん。



有限会社ブリキンながい（金沢市）

1966（昭和 41）年に創業し、2006（平成 18）年に法人化。一般住宅の建築板金を手がけており、特に室内を快適な環境に保つための遮熱リフォームは同社ならではの大きな強み。【所在地】金沢市桂町ニ 39 番地1 【資本金】500 万円 【代表】永井紀久 【従業員数】6 名



いいね!!

仕事のやりがい 責任感が充実感に

仕事の面白さをより感じるようになったのは、一人で任せてもらえるようになってから。責任感の大きさが、充実感にもつながっています。

建築板金職人までの道のり

◎高校時代、（有）ブリキンながいでアルバイト

◎卒業後、就職。本格的に職人の道へ

「中学生の頃、夏休みの宿題で、銅板で折ったハトを提出しました。この時から銅板を折ったり、切ったりするのが楽しかったですね」（永井さん）

職人の こだわり

現場では音楽を聴きながら作業することが多いですね。お気に入りには K-POP！

仕事を任せてもらうことで、
やりがいはより大きくなります

山谷を越えて 職人の道を歩む

どんな職業でも一人前になるためには、大きな山を乗り越え、険しい谷からはい上がる経験が必要なのかもしれません。建築板金職人となって 9 年目、ブリキンながい（金沢市）で住宅の新築・リフォーム工事を手がける永井久椰さんも、こだわりの強い職人の世界に悩んだこともあれば、目の回るような忙しさに追われた日々もありました。数え切れないほどの現場で頭と体をフル稼働させる中で、建築板金の技術と知識を一つひとつ身につけていったのです。

そして、3 年ほど前からは本格的に現場仕事を任せてもらえるように。「工事の段取りを一人で担当するのですから責任は段違いに、大きくなりました。ただ、それ以上にやりがいを感じています」と話す永井さん。丁寧に、美しい仕上がりを徹底

するまじめな仕事ぶりは、ブリキンながいへの確かな信頼へとつながっています。

「おまえならやれる」。 先輩の言葉が励みに

建築板金で求められるスキルの一つに、現場での対応力が挙げられます。いかなるベテラン職人でも計画通りに進むことはほとんどなく、実際に作業にあたる中で突然の難問が降りてわいてくるのがよくあります。

「駆け出しの頃、想定外の出来事が起きると、思わず『ムズッ』と口をつくことがありました」と、永井さんは笑います。そんな時、背中を押してくれたのが、仕事のやり方を教えてくれた建築板金職人の先輩でした。「おまえならやれるわいや」。ポジティブな言葉でいつも励ましてくれたそうです。

また、目の前に起きる問題に頭を悩ませ、何とか解決してい

くことで、建物は徐々に形になっていきます。「完成の度合いに比例するように達成感も高まっていきます。この感覚を味わえるのが建築板金の魅力です」（永井さん）。どの現場も思い入れが強く、これまでに手がけた一つひとつを鮮明に覚えていると言います。

未来の職人と一緒に よりよい職場づくりを

ブリキンながいでは、よりよい職場環境の整備に力を入れています。その一環として、年間を通してさまざまなイベントを企画。社員だけでなく、お世話になっている業者さんも招き、バーベキューや新年会などを開催しており、親睦を深める中で高まるチームワークも同社の大きな強みです。

もちろん、これからの建築板金業界を担う人材の採用・育成も積極的に進めていく計画です。「不器用でも、特別な資格

がなくても構いません。明るく、元気でまじめであれば大丈夫。ゼロからスタートする若い人たちと一緒に、楽しくやりがいのある現場をつくっていくのが目標です」とビジョンを語る永井さん。10 年、20 年先の会社の未来像を思い描きながら、今日も忙しく建築板金の最前線に立っています。

